



## 3.1 食品規格: 放射性物質の影響を受けた農 耕地からの食品輸入基準

Food safety in international trade,

by Rob Theelen, Chair's Assistant of the CCCF

2016年11月9日、福島市



# 国際食品規格

「国際食品規格」または「フードコード」は消費者の健康を保護し、食品貿易における公正慣行を推進する規格を開発するために、1963年FAOと世界保健機関によって設立されました。

....

国際食品規格は、食品の安全性と食品取引の確実性のために作られています。委員会の188のメンバーは、食品の安全性と品質に関連するすべての分野、例えば、食品衛生、食品添加物の限度、農薬や動物用医薬品の残留、化学的および微生物汚染防止のための制限と規格などについて、科学に基づいた提言を協議してきました。

...

source: [www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/codex-home](http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/codex-home)

## The WTO and the FAO/WHO Codex Alimentarius



Collaboration between WTO and the Codex Alimentarius concerns the use of international food safety standards in the context of the SPS Agreement.

# WTOに関連するコーデックス規格

*WTOのSPS協定は、「可能な限り広く衛生植物検疫措置を統一化させるために、メンバーは国際的な基準、指針又は提言に基づかなければならない」と述べています。食品安全性に関連する基準を設定する機関として、FAO/WHO共同の国際食品規格と命名した。*



# コーデックス規格

....

コーデックス規格は、FAOとWHOが組織する独立した国際リスク評価機関または特別協議の支援により、適用可能な最良の科学に基づいています。メンバーによって自主的な適用を勧告されているものでありながら、コーデックス規格は多くの場合に国の法令の基礎として役立っています。

衛生植物検疫措置 (SPS協定) に関する世界貿易機関の協定において、コーデックス食品安全基準に対して述べられた言及からは、コーデックスが広範囲に貿易紛争を解決するためのものであることが読み取れます。コーデックスによって設定されたものよりも厳しい食品安全対策を適用したいWTOのメンバーは、それらの措置を科学的に正当化することが求められるでしょう。

....



## 汚染物質に関するコーデックス規格

食品中の汚染物質に関するコーデックス規格は、汚染食品コーデックス委員会(CCCF)によって準備され、コーデックス委員会とそのメンバーおよびオブザーバーによって採択されます。CCCFの年次会議では、メンバーとオブザーバーによって開発された規格の提案について議論します。意見の一致に基づいて決定がなされます。

....

採用された汚染物質に関する基準は、食品および飼料における汚染物質や毒素のための一般的な標準(CODEX STAN 193-1995)が含まれています。

NAME	PAGE
<b>Mycotoxins</b>	
Aflatoxins, Total	13
Aflatoxin M <sub>1</sub>	34
Deoxynivalenol (DON)	35
Fumonisin	36
Ochratoxin A	37
Patulin	38
<b>Metals</b>	
Arsenic	39
Cadmium	40
Lead	42
Mercury	47
Methylmercury	48
Tin	49
<b>Radionuclides</b>	50
<b>Others</b>	
Acrylonitrile	55
Chloropropanols	56
Hydrocyanic acid	57
Melamine	58
Vinylchloride monomer	59

### Codex Committee on Contaminants in Foods (CCCF)

<b>FAO/WHO ID No:</b>	CX-735
<b>Reference:</b>	CX/CF
<b>Terms of Reference:</b>	(a) to establish or endorse permitted maximum levels or guidelines levels for contaminants and naturally occurring toxicants in food and feed; (b) to prepare priority lists of contaminants and naturally occurring toxicants for risk assessment by the Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives; (c) to consider methods of analysis and sampling for the determination of contaminants and naturally occurring toxicants in food and feed; (d) to consider and elaborate standards or codes of practice for related subjects; and (e) to consider other matters assigned to it by the Commission in relation to contaminants and naturally occurring toxicants in food and feed.
<b>Status:</b>	Active
<b>Host:</b>	Netherlands



# 放射性核種に関するコーデックス規格

ガイドラインのレベルは、原子力又は放射線の緊急事態の後、人による消費及び国際取引されることになる食品中の放射性核種に適用されます。これらのガイドラインのレベルは、再構成後または消費のために整えた食品に適用され、年間1ミリシーベルトの介入免除レベルに基づいています。

商品名	ガイドラインレベル (Bq/kg)	代表的な放射性核種
乳児用食品	1	Pu-238, Pu-239, Pu-240, Am-241
乳児用食品	100	Sr-90, Ru-106, I-129, I-131, U-235
乳児用食品	1 000	S-35 (*), Co-60, Sr-89, Ru-103, Cs-134, Cs-137, Ce-144, Ir-192
乳児用食品	1 000	H-3(**), C-14, Tc-99
乳児用以外の食品	10	Pu-238, Pu-239, Pu-240, Am-241
乳児用以外の食品	100	Sr-90, Ru-106, I-129, I-131, U-235
乳児用以外の食品	1 000	S-35 (*), Co-60, Sr-89, Ru-103, Cs-134, Cs-137, Ce-144, Ir-192
乳児用以外の食品	10 000	H-3(**), C-14, Tc-99

## Annex 1

原子力又は放射線の緊急事態の後に汚染した食品中にある放射性核種に対するガイドラインレベルの科学的立証

## Annex 2

ガイドラインのレベルが適用される場合の人の内部被ばくの評価

## Table 2

乳児および大人が、年間の輸入食品の摂取から影響を受ける実効線量の評価



## 放射性核種に関するCCCF ワーキンググループ

### REPORT CCCF 2012

- 48... 食品中の放射性核種に対するガイドラインレベルで、ヨウ素の低い値に関連した放射線安全委員会 (IACRS) の会議は、食品および飼料中の汚染物質や毒素のための一般基準の改正を正当化した。
50. ... これらのガイドラインレベルにおける改正の可能性および/または明確化する箇所を探すことから、何らかのメリットがあるかもしれません。

### REPORT CCCF 2013

51. GSCTFFにおける食品中の放射性核種のためのGLsの改正について、文書CX/ CF13/7/6の作業の際に出した結論と提言に基づき、委員会は現在のGLsからMLsへ変更しないことで合意しました...したがってGSCTFFにおける食品中の放射性核種のためのGLsの改訂作業を中止します。
53. 委員会は、機関間ワーキンググループによって行われた後で、CCCFは必要に応じて放射性核種に関する新しい作業を開始する可能性があると言及しました。

### REPORT CCCF 2015

132. 委員会は、原子力/放射線汚染の改善のために加盟国を支援するIAEAの活動を歓迎し、TECDOCに含まれている情報はCCCF内の放射性核種に関わる今後の作業のために有用であると言及しました。
134. 国際放射線防護委員会の放射性核種に関する進行中の作業を考慮して、委員会は新しく発生する可能性のある仕事については、審査の結果が利用可能になるまで遅らすべきであると合意した。それは、GSCTFFのコーデックスGLs改正につながる可能性がある。



## 結論

- コーデックス規格は法的基準ではなく、国際的に取引される食品および飼料の品質を統一化させるために世界中で使用されています。この規格は、コーデックスメンバーの国の法律に採用されるべきです。
- 放射性核種に関するコーデックス規格は、GSCTFFに記載されており、事故等によって放射性化合物に汚染された食物に対して適用されます。これらの規格は、人間の健康上のリスクに基づいており、規格に準拠している食品は人が安全に摂取できるとみなされます。
- コーデックス委員会のすべての加盟国は、これらの基準を食品貿易へ採用するように要求されています。貿易摩擦が生じた際に、WTOはコーデックス規格を使用します。十分な科学的根拠に基づいて証明されている場合にのみ、規格から逸脱することが許容されます。
- 最近の放射性核種のための基準の再評価では、現行の基準変更はコーデックスのメンバーに必要と見なされていないことを示しています。しかし、事故の際に生じる「貿易」対「公衆衛生の保護」の争点に関しては、これらの標準を使用する方法について混乱があるようです。